

様式第2号（第7条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	第1回川島町総合振興計画審議会	
開 催 日 時	令和3年6月23日（水）午後1時30分から3時10分	
開 催 場 所	川島町役場 大会議室	
議 題	(1) 令和3年度スケジュールについて (2) 第5次総合振興計画評価について (3) 第6次総合振興計画について	
公開・非公開の別	公 開（傍聴者0名） ・ 非公開 ・ 一部非公開	
非公開の理由 (非公開の場合のみ)		
出席者	委員	西村委員、石島委員、鈴木治委員、今井茂夫委員、川島委員、利根川委員、遠山昌代委員、早坂委員、猪鼻静委員、今井敏義委員、堺委員、遠山豊委員（代理）、鈴木恵美委員
	事務局職員	政策推進課 藤間課長、友野主幹、岩下主査、品川主任
配 布 資 料	会議次第、資料1～4、当日配付資料1～2	
審議会等の内容・概要		
1. 開 会 2. 会長あいさつ （事務局より会議の開会にあたり、川島町審議会等の会議の公開に関する要綱に基づき、会議は原則公開であることを説明する。なお、会議録を公開するが、発言委員名は記載しない旨で委員より了承を得る。） 3. 議事 会 長：議事録署名委員を指名する。鈴木治委員、鈴木恵美委員を指名する。 (1) 令和3年度スケジュールについて （事務局にて資料1を用いて説明。） 会 長：特に意見はないようなので、このスケジュールに沿って進めていく。		

(2) 第5次総合振興計画評価について

(事務局にて資料2を用いて説明。)

会 長：前期基本計画と後期基本計画の評価を比較し、第5次計画全体の評価をまとめられた。第6次計画への展開についてだが、○のついている箇所が重点的に取り組む分野ということよろしいか。

事務局：見込みの通りである。第5次計画の評価を踏まえ、第6次計画において重要施策を位置付ける政策分野を○としている。

会長：すでに計画期間が終了した計画への評価であった。これらを次期計画にいかに関反映していくかが重要であるので、次の議題で議論することとする。

(3) 第6次総合振興計画について

(事務局にて資料3～4、当日配付資料1～2を用いて説明。)

会 長：前回審議した計画骨子から追加された情報としては、関連事業の実施計画を公表していく点や基本理念としてのキャッチコピーが決まった点、評価指標をしっかりと定めた点であった。その後の資料訂正の説明も踏まえ、意見はあるか。

委 員：全体的に、素晴らしい計画ができつつあると感じた。一方、資料を確認している際にびっくりした点もあった。それは、総合目標に関してだが、住みよいと感じている方が40%と聞くと、その程度かという印象を持ってしまう。先ほどの説明を聞くと、算定根拠となるアンケートで「普通」と答える方を含めて8割程度の町民が、住んでいて不満のない状態を目指しているということであった。この説明を聞けば納得するが、町民の目線ではそこまで読み込めない。注釈を加えるなど修正が必要ではないか。

もう一点、策定体制図も修正が必要と考える。矢印の長さに違和感があるなど修正が必要なので、町民の誰が見ても理解できる内容になるよう精査されたい。

会 長：ご指摘の通りである。職員など前段の情報がある者が見れば理解できるかもしれないが、町民それぞれが理解しやすい表現とする視点は持つべきである。数字が一人歩きする懸念もある。

事務局：ご指摘の点について、内部で調整の上、修正する。

委 員：一方で、町外在住者から見ると、40%はそんなに悪い数字ではないと考える。私が住んでいる東京都のある区では、土地の価格上昇などがあり住みやすいとは言え

ない。新しく住みたいと思う人もいないのではないか。

また、まちづくりの指標という点から言うと、農業や商工業など産業の後継者の割合というのも確認した方が良いのではないか。持続可能なまちづくりという意味では重要だと考える。

会 長：事務局には対応を検討されたい。

委 員：全体的には良くできており、読んで面白さも感じる。ただ、細かい点ではあるがいくつか意見したい。一つ目は人口推計の箇所についてだが、まずこの説明文がわかりづらい。下部のグラフと説明文のつながりもわかりにくい。伝わりやすい表現に修正していただきたい。二つ目は評価指標についてだが、転出意向を持つ方の割合などとしているが、合計特殊出生率や世帯数の推移など、もう少し一般的な指標にできないか。また、転出意向という表現だと、意識が外に向いていることを想起させる。この点からも、世帯数など町内に住んでいる方に意識が行くような指標としていただきたい。三つ目は土地利用構想図の説明箇所だが、田園居住系地域の説明文中の表現を再考されたい。具体的には「集落」という表現のことだが、この表現だとかなり地方の風景が想起されるので、修正願いたい。

会 長：事務局には修正を検討されたい。

会 長：策定経過について、事務局にはぜひ本計画策定に係る取組を詳細に記録していただきたい。今回、総合振興計画の内製化という非常に良い取組を行っている。このノウハウを継承していくという意味からも、例えば、どのタイミングで何を議題として審議会を開催したかなどを記録しておくべきである。次回、策定に取り掛かるタイミングで一から確認するのでは遅い。ぜひ、庁内で共有できるようまとめていただきたい。

事務局：ご意見の通り対応する。

会 長：他に意見はないようなので、事務局には意見への対応を検討し、引き続き策定業務を進められたい。

#### 4. 報告事項

「明治大学政治経済学部西村ゼミナールとの共同研究に係る中間報告」

(明治大学政治経済学部西村ゼミナール所属学生により共同研究に係る中間報告を行う。)

5. 閉会

署

名

鈴木 克美



鈴木 治

